

セルカーカレッジ 語学研修 参加報告書

文学部比較文化学科 2年（参加時）

私は、8月25日から9月21日までの一か月間、カナダのセルカーカレッジで語学研修に参加しました。自分にとって初の海外での経験だったので、はじめは不安な気持ちいっぱいでしたが、沢山の人との出会いや日本ではできない濃い経験ができ、最終日にはもっとカナダに滞在していたかったと思える程、貴重な時間を過ごせたと感じています。

学校生活

はじめの週は、オリエンテーションとレベル分けテストが実施されます。オリエンテーションでは、私達の授業を受け持つ先生方と他大学の留学生の人たちとの顔合わせがありました。全体の留学生のうち、日本人留学生が大半でしたが、中国、韓国、台湾、タイ出身の留学生の人もいて、アジア系の留学生との交流を深めることができました。また、アジア系の国際学生の方々が私達に大学について詳しく教えてくれました。

レベル分けテストでは、リーディング、グラマー、コミュニケーション、ライティングの4技能のテストがあり、それぞれのレベルに応じたクラスに振り分けられます。授業は、大体が2時間あり、レベル5のクラスは特に課題が多い印象を受けました。私は、先生が話していることを聞き取ることに必死で、授業中の発言などあまりできませんでしたが、基本的に自主的に発言をしていく方針の授業が多かったです。先生方もレベルに応じて授業方法を変えていたので、レベル5の授業は自分にとって学習量が多く大変なものでした。しかし、先生方は個別で質問をしにいくと、親身に寄り添ってくれ、一人一人に丁寧な対応をしてくださるようなあたたかい方ばかりでした。英語尽くしの授業は自分にとって新鮮で有意義な時間になったと思います。

ホームステイ

私は、ホストマザーとの二人暮らしでした。他の北九大の留学生は、他大学の留学生と一緒に住んでいる人が多かったので、留学生が一人でホームステイすることは比較的珍しい方だという印象を受けました。私は、英語が流暢に話せるわけではなかったので、1対1でゆっくりとした会話ができることが自分に合った良い環境でした。



家には、犬と猫が一匹ずついて、犬の散歩に行きたいことを伝えると快く受け入れてくれ、夜にのんびりとした散歩を楽しむことができました。また、散歩が好きだということを伝えると家の近くにあったミレニア

ムパークという散歩スポットに何度も連れて行ってくれました。土日には、積極的にドライブに誘ってくれて、現地のお祭りや景色の良い場所を沢山案内してくれました。たった一か月でしたが、私がしたかったことを沢山叶えてくれる優しく、あたたかいホストマザーでした。

学外活動

滞在中、授業以外にも様々な学外活動に参加する機会がありました。放課後には、みんなでホッケーの試合を観戦しにいきました。寒い会場内での観戦でしたが、初めて現地のホッケー観戦は新鮮で、楽しかったです。また、週末にはスケートにも挑戦し、現地の人々のスケート技術の高さに驚きました。

また、バスで訪れる事のできるネルソンという街に遊びに行きました。アクセサリーショップや雑貨屋さん、古着屋さんや、アイスクリームショップなどで買い物を楽しみました。ネルソンは、街の雰囲気がとても可愛らしく、学校で買ったバスの定期券で行くことができる、おすすめです。

滞在最終日前日には、先生の自宅でホームパーティーが開催されました。お菓子やジュース、料理をみんなで持ち寄って、カラオケやバレーなどを楽しみ、多くの留学生と交流することができました。日本では見られない形式のパーティーだったため、異文化体験として新鮮であり、友人関係を深める貴重な機会になりました。最後の思い出として特に印象に残っています。



学び

一か月の経験を通して、自分の英語能力向上のための勉強をより一層頑張りたい、そしてまた海外に行ってみたいという思いがとても大きくなりました。自分達の他にも英語を勉強している人たちが近くにいて、刺激ももらえ、モチベーションが高くなりました。

カナダは人も景色も食べ物も何もかも日本とは違いましたが、現地での生活は本当に毎日楽しく、特別なものでした。英語が流暢に話せずとも生活はできましたが、もっと自分の意見を英語で伝えられる人になりたいと目標ができました。現地で良くしてくれたホストマザーや国際学生の子たちには沢山の感謝の気持ちでいっぱいです。たった一か月でも私の人生の中で貴重な経験でした。この経験をもとにこれからも英語学習を頑張ります。